

令和8年度 教 育 計 画 四国中央市立土居小学校						学校番号 18	
校長名	柳瀬 剛	学級数	9 (3)	児 童 生徒数	165	教職員数	15

経営方針

- (1) 児童一人一人の良さを認め伸ばし、自己実現を図ることができる学校づくりに努める。
- (2) 全教職員が使命感を持って学校の実践的課題に取り組み、組織力を生かした活気のある学校づくりに努める。
- (3) 家庭や地域と連携・協働し、安全・安心で愛顔あふれる温かい学校づくりに努める。



学校の教育目標

ふるさとを愛し、心豊かに、たくましく生きるやまじっ子の育成

育てたい子どもの姿

あったか言葉のキャッチボール

愛顔いきいき やまじっ子！

<学校像>

- ・愛顔あふれる楽しい学校
- ・思いやりのある温かい学校
- ・家庭、地域から信頼される学校

<児童像>

心かよわせ優しい子(徳)

- ・ 自他共に大切にし、思いやりの心でつながる子
- ・ 善悪を正しく判断し、決まりを守れる子
- ・ 気持ちの良い挨拶と返事ができる子

<教師像>

- ・ 明るく人間性豊かな教師
- ・ 実践的指導力のある教師
- ・ 対話し協働する教師

自分から進んで考える子(知)

- ・ 向上心を持って主体的に学ぶ子
- ・ 自分の思いや考えを進んで表現できる子
- ・ 共に考え、認め合いながら学びを深める子

明るく楽しい学校

やる気いっぱい元気な子(体)

- ・ 目標を持って体力向上に努める子
- ・ 最後まで粘り強く取り組む子
- ・ 早寝早起き朝ごはんで健康に生活する子

教育理念

- ・ 人権・同和教育と特別支援教育の知見を取り入れた教育環境の基盤づくり
- ・ 自己の成長を実感し、夢と希望を広げられる学校へ



学校運営協議会



学校・家庭・地域が共に歩む温かい学校づくり

連携・協働

学校	家庭	地域
学びの基礎を身に付け 「生きる力」を培う場	心やすらぐ 憩いの場	ふるさとを知り 誇りに思う心を育てる場

重点目標	1 社会総がかりで取り組む教育の推進 ○ 学校運営協議会の機能を生かした地域教育力の積極活用 ○ スクール・サポート・ボランティア（SSV）を活用した、ふるさと教育の推進 2 確かな学力を基盤とした未来を切り拓くたくましい子どもたちの育成 ○ 基礎的・基本的な学力の定着（朝のモジュール・読書の充実） ○ 主体的に学ぶ態度の育成（探求型、複線型等、主体的に学ぶスタイルの確立） ○ 授業のユニバーサルデザイン化とアナログとデジタルのベストミックスによる授業改善の推進（アナログとデジタルの効果的活用に関する研究） ○ 対話を通して深い学びに導くための単元構成の確立（中間発表後の深化） ○ 教育活動全体を通じた道德教育の充実による豊かな人間性の育成 3 全ての子どもたちの自信を育み、安心して学べる教育環境の整備 ○ 自他の大切さを認め、高め合い、支え合う温かい仲間づくりの推進 ○ 教職員の人権感覚を磨き、全教育活動を通して同和問題をはじめとするあらゆる人権問題を解決するための確固たる姿勢と実践力の確立 ○ 心の居場所としての学級づくりと、いじめ防止対策の推進、不登校の未然防止 ○ 避難訓練や危険箇所点検の充実と、自分の命を確実に守る行動ができる児童の育成 ○ 児童が安全で安心して学べる教育環境の整備 4 一人一人を見詰める特別支援教育の推進 ○ 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の確立 ○ 特別な教育支援を必要とする児童の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実と全校的な指導体制の構築及び合理的配慮の推進 5 望ましい生活習慣の育成と健やかな体を育てる教育の推進 ○ 挨拶・はきものそろえ・「はいっ」の返事の定着 ○ 体力アップ推進計画及びえひめ子ども IT スタジアムの確実な実施 6 教職員の資質・能力の向上 ○ キャリアステージに応じた実践的指導力を高める研修の充実 7 働き方改革の推進 ○ ICT活用による業務の効率化と負担軽減（ペーパーレス化の推進） ○ スクール・サポート・ボランティアによる授業支援（書写・家庭科・図工等）
管理運営	1 人的管理 (1) 教職員のメンタルヘルスとワーク・エンゲージメントを意識した業務改善 (2) 地域の教育力を効果的に活用した教職員の負担軽減 (3) 服務規律の徹底と危機管理意識の向上に向けた研修の充実 2 物的管理 (1) 施設設備の定期的な安全点検による危険個所の早期発見と迅速な対応による事故防止 (2) 教育の場にふさわしい情操豊かな教育環境の整備・充実 3 事務管理 (1) 個人情報適切な管理保管と著作権の意識向上 (2) 共同学校事務室の機能を生かした適正で効果的な事務の推進 (3) 適正な会計事務と諸帳簿の整備・管理の徹底
本校教育の特色	○ 「あったか言葉のキャッチボール愛顔いきいきやまじっ子」を合言葉に、互いを思いやる優しい心の育成に努めている。また、6年生を対象とした地域の方との土居町人権宣言についての学習会など、人権・同和教育を推進する中で、差別をしない、許さない正しい判断力と行動力の育成を目指している。 ○ コミュニティ・スクールを生かし、学習活動の支援や見守り活動、読み聞かせ等を実施している。これらを通して、ふるさとを愛し誇りに思う児童を育てるとともに、学校、家庭、地域が連携・協働した安全・安心で温かい学校づくりを推進している。